



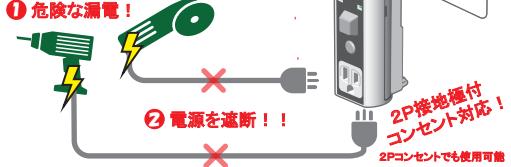
GT-XC
ビリビリガード® Plus

地絡保護専用
プラグ形漏電遮断器
[屋内専用]

使用例

- 改修工事や日曜大工など 電動工具を使用する場合
- 洗濯機や電子レンジなど水気や湿気を伴う場所で使用する場合

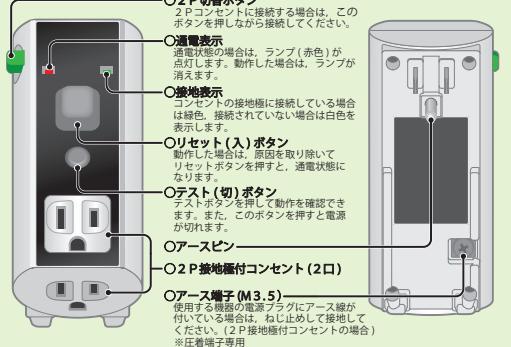
① 危険な漏電！



② 電源を遮断！

2P接地極付
コンセント対応！
2Pコンセントでも使用可能

各部名称と機能説明



地絡保護専用

定格電流 15A
定格電圧 AC100V
定格感度電流 15mA
定格不動作電流 7.5mA
衝撃波不動作形

動作時間 0.1秒以内 (高速形)
定格周波数 50/60Hz
使用温度範囲 -10~40°C

電気用品安全法技術基準適合品



テンペール工業株式会社 〒732-0802 広島市南区大州3-1-42
技術問い合わせ窓口 TEL (082) 287-9110 FAX (082) 289-4534
受付時間 9:00~17:30 (月曜日~金曜日 (祝日、弊社休業日を除く))
<http://www.tempearl.co.jp/>

GT-XC
ビリビリガード® Plus

地絡保護専用
兼用

ボタンを押すだけ

□コンセントへの接続方法

○2P接地極付コンセントの場合



切替表示 : 緑

○2Pコンセントの場合



切替表示 : 白

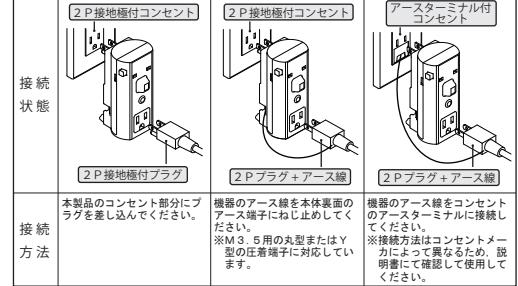
※取扱説明は、内面に記載しています。



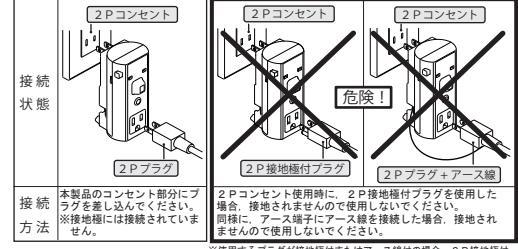
Plus

□使用機器の接続方法

コンセントと機器のプラグは、以下の組み合わせで接続してください。



※以下の接続方法では、接地極に接続されていません。

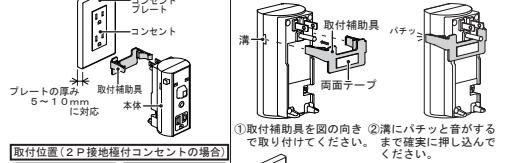


□取付補助具の使用方法

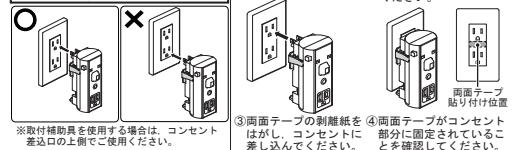
取付補助具は、本製品がコンセントから容易に外れないよう固定したい場合に使用します。以下の使用上の注意と取付方法をよく読み、正しくご使用ください。

○取付補助具を使用する場合は、コンセント差込口の上面でご使用ください。
○画面テープをコンセントフレート部分に貼って使用しないでください。コンセントフレートが外れた場合、破損するおそれがあります。
○取付補助具を使用するとき、他のコンセント差込口が使用できなくなる場合があります。

各部名称



取付位置(2P接地極付コンセントの場合)



ビリビリガード Plus 取扱説明書

型式: GB-XC
GT-XC

○このたびは、ビリビリガードPlusをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

○ご使用前に説明書をお読みの上、正しくご使用ください。この取扱説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずこの説明書をすべて熟読し、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟知してからご使用ください。
この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分しております。

△取扱いを誤った場合に、危険な状況が起りえて、死亡または重傷を招く可能性が想定される場合

△注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起りえて、傷害を招く可能性が想定される場合。
なお△注意に記載した事項でも、状況によっては最大の結果に結びつく可能性があります。

いざもしも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

△危険

○カバーを開けないでください。感電のおそれがあります。
○本体に表示された容量(1500W)以下でご使用ください。容量を超えると焼損のおそれがあり、火災の原因になります。
○本製品が行きの電流と帰る電流との差が規定以上になった時に動作する仕組みとなっており、2箇所の充電端子に触れた場合(両端子)は測定値が出しません。よって、2箇所の採用部には絶対に触らないでください。感電時に動作しません。

△注意

○プラグを中途半端に差し込んだ状態やラグ端に抜けやすい状態で使用しないでください。
○感電や発火の原因になります。

○本製品に差し込んだ状態で抜く時は、必ず本体とプラグを持って抜いてください。
○落としたたり踏んだり、重物をのせたりしないでください。強い衝撃を与えると感電・故障の原因になります。

○定期的にプラグの素面や端子の間を掃除してほこりを取ってください。発煙や発火の原因になります。
○たこ足端子はしないでください。プラグが抜けやすくなり、発煙や発火の原因になります。
○高温、多湿、じんい、腐食性ガス、振動衝撃など異常な環境または鉄粉、削削屑、溶接火花等があるところおよび可燃物の近くに取り付けないでください。

○ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物および水等が本体内部に入らないように取り付けてください。少しお手間の作業があります。

○濡れた手で操作しないでください。感電のおそれがあります。また、防水構造ではありませんので、水没させたり洗い流さないでください。

○使用はアース端子に触れないでください。感電のおそれがあります。

○本体の定格にあればアース端子に接続してください。また、定期的にテストボタンを押して動作確認を行ってください。ボタンを押して通電表示が消えれば正常です。

○2P接地極付コンセントは本製品を使用する場合は、コンセントと接続する前に、アースピンの先端を押して、本体に吸収されないと確認して使用してください。接地されず、感電のおそれがあります。

○本製品を使用して通電表示が自動的に消えた場合は、漏電または過負荷です。

○原因を取り除く、最もはやく電気工場へご相談ください。

○自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからセッタ(入)ボタンを押してください。

○感電、火災のおそれがあります。

○テスボタンをF2F操作して使用しないでください。

○電気器具のアース線またはアース端子は、必ず接してください。

○定期的にアースピンとアース端子の導通を確認してください。接地されず、感電のおそれがあります。

○洗剤や殺虫剤をかけないでください。発煙や発火の原因になります。

○インバータ回路の2次に本製品を接続しないでください。本体の発熱、異常過熱などを招くおそれがあります。

○取付補助具は、画面テープをコンセントフレート部分に貼って使用しないでください。コンセントフレートが外れたり、破損するおそれがあります。

使用上のご注意

○本製品は漏電を検知し電路を遮断する機器です。漏電による遮断によって起こる二次的な損害についでは責任を負いかねます。

○G-B-XCは地絡・過負荷・短絡保護。G-T-XCは地絡保護に対応です。配線保護ではありません。

○本製品を取り付けた電路で地絡が発生した際、同じ電路にある漏電遮断器が動作時間0.1秒以内(高速形)の場合、その漏電遮断器が電路の上位にあっても本製品より先に切れることができます。

また、G-B-XCは本製品の定格電流を大きく超える過電流や短絡電流が流れた場合、上位の配線用遮断器や配線用遮断器が漏電遮断器が動作できません。

○絶縁抵抗を測定するとき、各種と対地間の測定はできますが、線間の測定はできません。

○アース端子への接続は、M3.5用の丸型またはY型の庄着端子を使用してください。

○アース端子へのねじ止めは、0.6 N·mのトルクで締め付けてください。